



大阪大学
適塾記念センター

第九回適塾講座
〈全3回〉

歴史のなかの適塾

私たちは適塾から何を学び、どう語ってきたか

緒方洪庵によって創設された適塾で学んだ者は、我が国における医療や公衆衛生の近代化に大きな役割を果たしたと言われています。江戸時代の後期に創設された蘭学塾のなかでも、適塾はどのようにしてそのような評価を得るようになったのでしょうか。ヨーロッパ医学の教育機関として適塾がもった特徴や江戸時代後期以降の日本各地の医療に適塾が果たした役割、明治時代以降の医学のなかで適塾に言及せながら語られた内容などに着目しながら、「私たちは適塾から何を学び、どのようにそれを語ってきたのか」について考えてみましょう。今年度の適塾講座はオランダと日本における医学史研究の碩学を招いて、ヨーロッパの視点と日本の視点を交錯させながら、適塾が医学の歴史に果たした姿を見つめ直します。

第1講座

10月22日 土

14時～15時30分

〈通訳あり〉

終了しました

ハルメン・ボイケルス（長崎大学多文化社会学部教授・ライデン大学図書館スカリゲル教授）
「ヨーロッパ医学の伝播における適塾の決定的役割」

第2講座

11月5日 土

14時～15時30分

終了しました

廣川 和花（専修大学文学部准教授）
「戦後大阪の医学史研究と適塾」

第3講座

12月3日 土

14時～15時30分

青木 歳幸（佐賀大学地域学歴史文化研究センター特命教授）
「適塾の歴史的評価について―地方出身門人の活動から」



ゾーフハルマ（大阪大学附属図書館蔵）

コーディネーター 古谷 大輔（大阪大学大学院言語文化研究科准教授）

会場：大阪大学中之島センター

◎お申込み・お問合せ先／適塾記念会事務局 URL: <http://www.tekijuku.osaka-u.ac.jp>
住所：〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学会館内 大阪大学適塾記念センター
電話：06-6850-5016 FAX: 06-6850-5015 E-mail: kinenkai@tekijuku.osaka-u.ac.jp

「適塾記念会」 入会のご案内

適塾記念会は、1952年に創立され、その主な目的は、緒方洪庵や適塾門下生の業績を研究・顕彰すること、そして大阪における学問・研究の伝統を明らかにし、その上に立つ新しい学術・文化の成果を広くお伝えすることにあります。

このような目的のもとに本記念会では、会誌「適塾」、図録「緒方洪庵と適塾」の刊行や適塾門下生調査事業などを行ってまいりました。また、「特別展示」、「適塾講座」及び「適塾記念講演会」を開催し、適塾に関する調査研究の成果を広く一般の方々に公開するとともに、会員の方々を対象とした行事を企画しております。2011年度からは新たに適塾並びに緒方洪庵やゆかりの史跡などを巡る「適塾見学会」も実施しております。

ぜひお知り合いの方々をお誘いのうえ、ご入会いただきますようお願い申し上げます。

◎入会されると

会員には「会員証」と会誌「適塾」（年刊）をお送りします。「会員証」は入会された当該年度（3月末まで）有効で、これをお示しいただければ適塾の参観、「特別展示」の参観が何度でもできます。※大阪大学の学生は、適塾の参観、「特別展示」の参観が無料です（要学生証提示）。また、「適塾記念講演会」「特別展示」「適塾講座」等本会主催行事についてご案内させていただきます。ほか、国立国際美術館（大阪市北区中之島4-2-55）を団体料金で観覧できます（一部の特別展等については例外あり）。

◎入会されるには

普通会員の会費は、年間1口2,000円で、何口でもお申し込みができます。入会のお申込みは、適塾（TEL:06-6231-1970）または適塾記念会事務局（TEL:06-6850-5016）において受付しております。

第1講座 10月2日(土) 14時～15時30分

【終了しました】

「ヨーロッパ医学の伝播における適塾の決定的役割」

緒方洪庵が中天游の門下となった頃、ヨーロッパの医学は理論的な性格から実践的な性格へと変化が見られました。ジェンナーの種痘法を普及させたC.W.F.フーフェラントは、そうした実践的志向をもつ医学者のひとりです。洪庵は彼の業績を学びながら、ヨーロッパ医学の実践的な性格に触れていました。適塾は言語教育に重きを置きながらヨーロッパ医学を十全に修得させる場となり、その門下は日本医学の近代化を先導することになりました。この講義では、こうしたヨーロッパ医学の伝播における教育機関としての適塾の役割を明らかにします。

ハルメン・ボイケルス（長崎大学多文化社会学部教授・ライデン大学図書館スカリゲル教授）

1945年オランダ・ロッテルダム生まれ。ライデン大学卒。ライデン大学医学史教授を経て、現在ライデン大学図書館スカリゲル教授ならびに長崎大学多文化社会学部教授。専門は医学史、蘭学史研究。元日本研究オランダ協会会長も歴任し、長年の日蘭学術交流の功績から2015年に旭日中綬章を受章。

第2講座 11月2日(土) 14時～15時30分

【終了しました】

「戦後大阪の医学史研究と適塾」

緒方洪庵と適塾についての歴史的研究や顕彰は、洪庵に直接教えを受けた人々による維新後の洪庵文庫設立運動の頃からみられ、戦後も医学者や医学史家たちによってなされてきました。こうした活動は、その時々々の社会における医療や学問上の課題と密接に関わっています。この講義では、戦後の医療や公害の問題を背景に、社会医学の観点から医学史研究の必要がさげば、洪庵生誕150周年記念事業が盛り上がりを見せた1960年頃の大阪を軸にふりかえります。

廣川 和花（専修大学文学部准教授）

専門は近代日本の医学史と医療のアーカイブズ論。大阪大学総合学術博物館助教・同適塾記念センター准教授を経て2015年より現職。博士（文学、大阪大学）。主な著書に『近代日本のハンセン病問題と地域社会』（大阪大学出版会、2011）、アン・ジャンネッタ『種痘伝来』（岩波書店、2014、共訳）など。

第3講座 12月3日(土) 14時～15時30分

「適塾の歴史的評価について—地方出身門人の活動から」

幕末期洋学の歴史的評価については「武士の洋学」の視点からだけでなく、在村蘭学の視点から地域医療の近代化への展開過程を注目すべきです。適塾は「医師の洋学」の伝統を保ちながら「草莽の洋学」を拡大する役割を担いました。報告者が赴任した佐賀は軍事科学を中心とした「武士の洋学」の地として評価されてきましたが、医学史の視点に立てば在村蘭学もありました。この講義では、肥前や信濃出身の適塾門人を手がかりに地域医療の近代化に果たした適塾の歴史的評価を試み、蘭学研究における視点の転換を考えます。

青木 歳幸（佐賀大学地域学歴史文化研究センター特命教授）

1948年長野県生まれ。長野県下教員、信州大学、筑波大学等非常勤講師を経て、佐賀大学地域学歴史文化研究センター教授、同センター長を歴任。2014年の退職後、現職。日本医学史学会理事、前洋学史学会会長なども務める。主な著書に『在村蘭学の研究』（思文閣出版、1998）、『江戸時代の医学』（吉川弘文館、2012）『伊東玄朴』（佐賀城本丸歴史館、2014）など。

■お申込み

定 員 50名（申込先着順）

受 講 料 【一般】4,500円（3回分）※1回1,500円
【適塾記念会会員】（新規入会者を含む）
3,000円（3回分）※1回1,000円

修了証書 全3回受講された方には、修了証書を交付いたします。

申込方法 ①下記「参加申込書」の記載事項をご記入のうえ、
FAXまたはE-mailにてお申し込みください。受付
確認後、受講決定の連絡をいたします。

締め切り：12月2日(金)17:00必着

（ただし、定員に達した時点で、締め切らせていただきます。）

②受講決定の連絡の後、受講料を下記の銀行口座に
お振り込みください。なお、振込手数料は、ご本人様
負担とさせていただきます。

□ 座 名 三菱東京UFJ銀行 茨木支店 普通預金 1502217

□ 座 名義 オオサカダイガク シャガクレンケイタントウ
大阪大学 社会学部担当

■会場までのアクセス 大阪大学中之島センター 3階



10/22, 12/3：講義室301
11/5：講義室304

大阪市北区中之島4丁目3番53号
TEL 06-6444-2100
http://www.onc.osaka-u.ac.jp

【電車によるアクセス】

阪神本線「福島」駅 徒歩約9分
JR東西線「新福島」駅 徒歩約9分
JR環状線「福島」駅 徒歩約12分
京阪中之島線
「渡辺橋」駅または「中之島」駅 徒歩約5分
地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 徒歩約10分
地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 徒歩約16分

【バスによるアクセス】

大阪市バス 大阪駅前バスターミナルより
(53系統)
→中之島四丁目(旧玉江橋)下車 徒歩1分
(75系統)
→田蓑橋 下車 徒歩2分
北港バス(中之島ループバス ふらら)
淀屋橋(土佐堀通/住友ビル前)より
→大阪大学中之島センター前下車 徒歩1分

【第九回適塾講座 参加申込書】

以下にご記入の上、FAX→06-6850-5015 まで送信ください。

または以下の内容を、E-mail→kinenkai@tekijuku.osaka-u.ac.jp まで送信ください。

フリガナ				
氏 名	□ 適塾記念会会員 □ 非会員			
住 所	〒			
電話番号	Eメールアドレス			
受講希望の講義に ○印をご記入ください	全3回を受講する ☐	第1講座を受講する ☐	第2講座を受講する ☐	第3講座を受講する ☐